

第11回 地方自治研究全国集会 in 埼玉

憲法をいかし、安心して住み続けられる地域、日本を

地方自治研究全国集会(全国自治論を行い、これからの政策・運動の研究会)は、憲法を住民のくらしと課題と展望を示す全国的な集会で地方自治にいかすために、住民、労働者、自営業者、地方議員、研究者、自治体・公務員関係労働者(労働組合)が共同して研究、交流、討論を行います。ぜひご参加ください。

9月29日(土)▶30日(日) 埼玉・大宮ソニックシティ

●9月29日(土)

記念講演 「すべての人に、暮らしを守るセーフティネットを(仮題)」
講師 阿部 彩 (国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部長)

第1 テーマ 地域経済再生、震災復興、再生可能エネルギーいかす地域づくり
講師 岡田 知弘 (京都大学)

第2 テーマ 「社会保障・税の一体改革」と社会保障のあり方
講師 日野 秀逸 (東北大学)

第3 テーマ 「地域主権改革」の争点と国・自治体の役割
講師 二宮 厚美 (神戸大学)

●9月30日(日) 31の分科会・講座を開催します

主催 第11回地方自治研究全国集会実行委員会
事務局 自治労連(日本自治体労働組合総連合)
〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館
☎03-5978-3580 FAX.03-5978-3588
E-mail/info@jichiroren.jp http://www.jichiroren.jp/

参加者募集中!
分科会の内容はお気軽に
お問い合わせ下さい

ピンチをチャンスに! 労働組合をなぜつくったのか 歴史に学び歴史をつくる第11回役員セミナー

日時 9月15日(土)13時30分~16日(日)12時
参加費 14,000円(全日程1泊2食)
場所 箕面観光ホテル 箕面市温泉町1-1
☎072-723-2323

申込先 府職労本部もしくは各支部役員まで

■セミナーのスケジュール

1日目 15日(土)

基調講演 「ピンチをチャンスに!」

榎野理啓さん(関西勤労者教育協会副会長)

分散会 夕食懇親会・自由交流

2日目 16日(日)

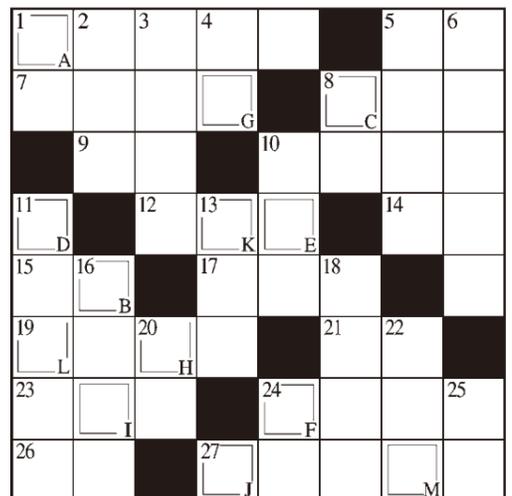
分散会 全体会

労働組合の抱える要求・課題を現在の情勢に即しながら、世界や日本社会全体に与える影響を分析し、歴史的な観点からもしっかりとらえることが大切です。第11回目をむかえる今回は「労働組合の組織率の低下、財政の逼迫、要求の後退、そしてハズム…『ピンチをチャンスに!』労働組合をなぜつくったのか」をテーマに開催します。ぜひご参加下さい。

主催 大阪労連・関西勤労者教育協会

クロスワードクイズ

カギを解き、二重ワクに入る文字をアルファベット順に並べてできる言葉は何でしょう。



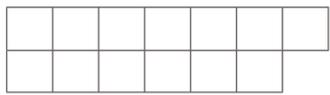
タテのキー

- 英語で頑強な。〇〇ガイ
- おどかし。射撃
- 捕鯨。国勢
- 〇〇に矢をつがえる
- ありのまま。に申せ
- 自動車損害賠償責任の略
- 〇〇ある鷹は爪を隠す
- 交際等が絶えて久しい
- 消費税減税で。に沸く
- 未承諾。外出

ヨコのキー

- 台湾中部の都市
- だが効いて良い〇〇
- 報道記事はそのまま受け取らず。しよう
- 駅前のバス
- 色即是〇〇、〇〇即是色
- 外の事故
- 作務衣。何と読む?
- 江戸期、庶民も〇〇参り
- 〇〇の親、〇〇の苦しみ
- 厨房に入るべし!
- 「フーモア基地」は沖繩の総意

【解答】



クロスワード 8月号の解答と当選者

答え=売れる自然エネルギー

当選者

- 西川 信 (枚方土木事務所)
布井 敬二 (泉州農と緑の総合事務所)
谷山 和央 (中央図書館)
小谷絵里子 (寝屋川保健所)
竹田 広行 (中河内府税事務所)

応募 府職労本部まで 締め切り 9月25日(火)

正解者の中から抽選で5人の方に図書カード(1000円分)を呈呈します。①解答②お名前③支部分会職場名④最近のできごとやメッセージを書いて、府職労本部まで、届けて下さい(はがき、メールやファックスも可)。当選者は、次の1日号で発表します。メッセージは、つぶやきに採用させていただくことがありますので、匿名希望の方は、その旨お書き添え下さい。

この連載を依頼されたのは、08年の「蟹工船」ブームの時だった。働いても、三食食べることもできない。真面目に働いても雇止め。ネットカフェやマクドで夜を過ごす。登録派遣で命をつなぐ。労働者派遣法の改悪などで、低賃金で不安定、劣悪な雇用が増。 「蟹工船」ブームは、劣悪な労働、雇用実態を告発し、改善を求める運動と並行した。同年末の「年越し派遣村」は、派遣労働の実態を可視化し、翌年の政権交代へ。

しかし、民主党政権は公約を次々に破り、今に至るも「貧困」「ワーキングプア」の根っこを絶つことができない。雇用環境を悪化させている。 「貧困」の原因を隠蔽「橋下ブーム」の害悪

支持論者の多くは、働く者の暮らしと労働環境を直視しようとはしない。橋下氏は、「貧困」や「ワーキングプア」の増加などを言葉で言っただけ。 「貧困」の原因を隠蔽し、悪化させる害悪だけ

根本原因を変えようと言わないばかりか、労働法の再改悪を求めている。 「貧困」は政治災害。08年に認識された政治責任を排除す

「蟹工船」21世紀丸「物語2」 17

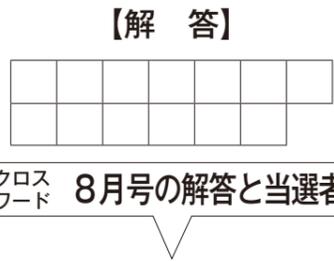
大阪府職労執行委員 小山 国治

「蟹工船」ブームの初期には、「自己責任」論や「若者ダメ論」なども一部で展開された。しかし、次から次へと告発される事実によって駆逐された。いま、「橋下」関連本が毎月数冊続々と出版されている。橋下氏やその

任を忘れてはならない。労働のあり方を見直し、すべての人間が報われる社会づくりこそが必要だ。

「資本論」の中でも、私がかつても好きな第4章からの引用である。 アダム・スミスもリカードも解くことのできなかった富(資本)の増加の仕組みを科学的に解き明かしたマルクスの顔が浮かんでくる。平野喜一郎著「入門講座『資本論』を学ぶ人のために」より

図6 商品交換と貨幣



人間の初めも、今も食えることが生存条件。 「人間は、地上に姿を現した最初の日と同じよ